

世界資本主義の第三段階

重工業資本主義の時代(1870～1914年)

☆ある特定の地域の製鋼業が、中心地をなるわけではない

☆設備の巨大化＝多額の設備資金

→景気変動に対応しにくい→協調による競争

→金融資本による支配(株式会社が一般的に)

☆副産物の生成→化学工業の発生

ガス

タール→染料、医薬品

アンモニア→冷凍・冷蔵

硝酸→セルロイド、火薬、肥料

☆非鉄金属工業

+錫→缶詰

+銅→電線

鉛→鉛管、活字、電気関連工業製品、科学工業の装置

+亜鉛→トタン

テキスト 149P

「イギリスの非鉄金属の輸入高」

→各種鉱山のある地域も世界経済に組み込まれていく

影響

☆世界的な交通・通信手段の発達

→鉄道：東アジア、東南アジア、アフリカ、中南米、太平洋地域

蒸気船

1869年：スエズ運河開通

電信→海底電線ケーブル

テキスト 165P

☆世界的な農業の構造変動

小麦の新しい産地の登場

→カナダ、オーストラリア、インド、アルゼンチン

旧来からの産地における構造転換

→近郊農業へ、酪農業へ、農業から撤退

コーヒー、砂糖などが世界商品に

冷凍食肉の供給拡大

米(東南アジア産)の重要性が高まる

→中国人労働者のアフリカの鉱山への出稼ぎ

テキスト 168P

「イギリスの地域的小麦輸入高」

テキスト 172P

「イギリスの冷凍食肉輸入高」

テキスト 181,182P

「シンガポールの米の輸入高・輸出高」

モノカルチャー化

テキスト 194P

☆世界的な通商の多角化

世界金融市場の構造変動

短期金融市場

☆商業銀行が手形引受業務に乗り出してくる

☆仏、独など欧州の主要銀行がロンドンに支店を開設

☆帝国銀行 (Imperial Banks) ・植民地銀行 (Colonial Banks) が増設

☆海外銀行 (Overseas Banks) ・国際銀行 (International Banks) が設立

→国際的な資金移動を主な業務

(→横浜正金銀行もこれにあたるの?)

テキスト 202P

長期金融市場

☆帝国銀行が植民地や後進地域へ資本の貸付(資本輸出)を行った

1873 ~ 1896 年 : 大不況

英国「帝国関税同盟」

1914 年以降をどう捉えるのか?

「帝国主義」: 1870 年代以降については、様々な議論がある

→これ以前は「自由主義」の時代

経済史の研究

当初、自生的(一国の発展)

→国民経済だけでなく、国と国とのつながりを見なくてはだめだ!!

入江節次郎 : 経済史研究の big name